

## 六甲山の整備・保全のボランティア活動 第 11 回「森の世話人」

白鶴酒造は、11 月 1 日（土）、国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所が主宰するボランティア「森の世話人（※）」活動の一環で六甲山の整備を行いました。

今回は社員に加え、神戸市の多文化交流員として登録されているボランティア 3 名にもお手伝いいただき、多国籍の総勢 12 名でにぎやかに活動しました。

前日の雨が上がり爽やかなお天気の中でスタートしました。前回（4 月）の活動からひと夏を経て、これまで車で進入できていた場所までも草木で覆われており、森を見渡しても植樹した目印の《囲い網と竹杭》はどこにも見当たらないほどでした。想像以上の草木の生命力に驚きつつ、刈り進めていくと笹や草木に埋もれていた《囲い網と竹杭》が少しずつ現れました。植えた木に絡まった蔦や周りの草木を取り除くと、最初は高さ 1 メートルもなかった苗木から 3 メートルほどに成長した木もあり、今後の成長が楽しみです。今回は植樹した場所すべての整備は叶いませんでしたが、残りの木も無事に育ってくれることを願っています。



### <参加者の感想>

初参加の社員：

「体力的には大変だったが、皆で一丸となって森を整備していく楽しさがあった。また参加したい」  
「いろいろな方とコミュニケーションをとりながら楽しく作業ができた」

多文化交流員：

「3 年間神戸に住み、神戸市民として六甲山の整備に関われて光栄」  
「社員たちと家族のような温かい雰囲気の中で活動できて楽しかった」  
「頑張って作業したのでお昼のお弁当も、終わってからの日本酒も美味しかった」

当社は、2021 年 12 月から「森の世話人」の趣旨に賛同し、灘五郷の酒造りを支える六甲山の整備・保全活動に参画しています。これまで、住吉川上流域の指定区域（約 4,500 m<sup>2</sup>）で年に数回、雑木・雑草の刈り取りをし、十分な整備ができた場所には根が強く土砂崩れを防ぐ働きのある落葉広葉樹の植樹を行っています。

今後も、活動面積を広げながら自然豊かで災害に強い六甲山を目指して活動を続けていきます。

### <植樹履歴>

|             |      |                              |
|-------------|------|------------------------------|
| 2025 年 3 月  | 6 本  | （コバノミツバツツジ、ムクノキ、ウリハダカエデ）     |
| 2024 年 12 月 | 6 本  | （ミズキ、エノキ、コバノガマズミ）            |
| 2023 年 4 月  | 10 本 | （イヌシギ、エノキ、ヤマザクラ）（うち 7 本が根づく） |



## ■活動の様子



<多国籍の12名で活動>



<植樹した木の周辺を手入れ>



<ネザサの刈り取り>



<before>



<after>



<刈り取った草木>



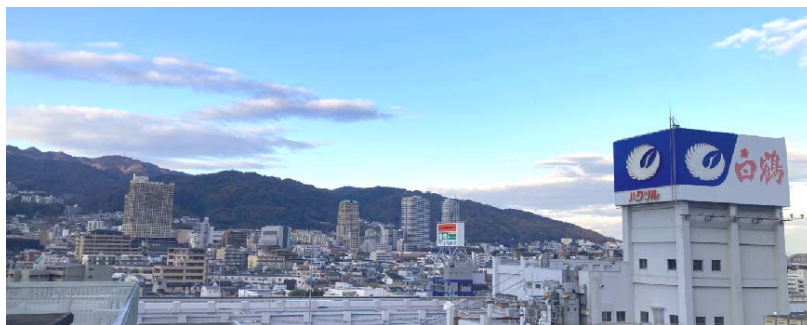
<奥に木（竹杭）を発見>



<秋の気配>



<対岸の白鶴美術館で>



<白鶴酒造と六甲山>

もろく崩れやすい花崗岩でできた地質や急峻な地形の六甲山は、住宅街に近く、土砂災害が起こりやすい山でもあります。六甲山で様々な高さの木や草をバランスよく育てることで、表土を守り雨水を涵養（かんよう）します。また、根の強い落葉広葉樹を植えることで、大雨や地震による土砂崩れを防ぎ、様々な生物が集まる豊かな森が生まれます。

当社の北側に位置する六甲山は、酒造りに欠かせない水、寒造りに適した環境をつくり出す六甲風（ろっこうおろし）など、灘五郷の酒造りにさまざまな恩恵をもたらしてきました。当社は、「森の世話人」として、自然豊かで災害に強い六甲山の森づくりに協力し、自然環境と調和した酒造りを目指します。

### （※）「森の世話人」活動

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所が主宰する六甲山の保全活動。市街地に近い六甲山地の斜面を樹林帯として守り育て、防災機能の強化と自然豊かな生活環境を確保する「六甲山系グリーンベルト整備事業」への市民・企業の方々の参加を進めています。

[https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/pr\\_media/plant/group/index.php](https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/pr_media/plant/group/index.php)

六甲山系グリーンベルト整備事業

<https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/business/gb/greenbelt-bus.php>